

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成27年3月19日(2015.3.19)

【公開番号】特開2014-141160(P2014-141160A)

【公開日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2014-042

【出願番号】特願2013-10338(P2013-10338)

【国際特許分類】

B 6 0 R 21/215 (2011.01)

B 6 0 R 21/205 (2011.01)

【F I】

B 6 0 R 21/215

B 6 0 R 21/205

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月2日(2015.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

請求項2の発明は、前記表皮と前記基材との間には、発泡層が設けられている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項2に記載の発明では、表皮と基材との間に設けられた発泡層によって、柔らかい触感が得られる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

請求項2に記載の発明によれば、表皮と基材との間に設けられた発泡層によって、柔らかい触感を得ることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 8】

2 4 グラブドアアウタ(内装部材の一例)

2 8 基材

3 0 表皮

3 0 B 裏面

3 1	<u>発泡層</u>
8 0	凹部
1 0 0	開裂溝

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エアバッグが膨張展開する際の膨張圧によって開裂する開裂溝が形成された基材と、前記基材の車室内側に設けられ、裏面に開裂起点となる複数の凹部が形成された表皮と

、
を備える車両の内装部材。

【請求項2】

前記表皮と前記基材との間には、発泡層が設けられている、
請求項1に記載の車両の内装部材。

【請求項3】

複数の前記凹部は、前記開裂溝の溝幅以下の間隔で形成されている、
請求項1又は請求項2に記載の車両の内装部材。

【手続補正6】

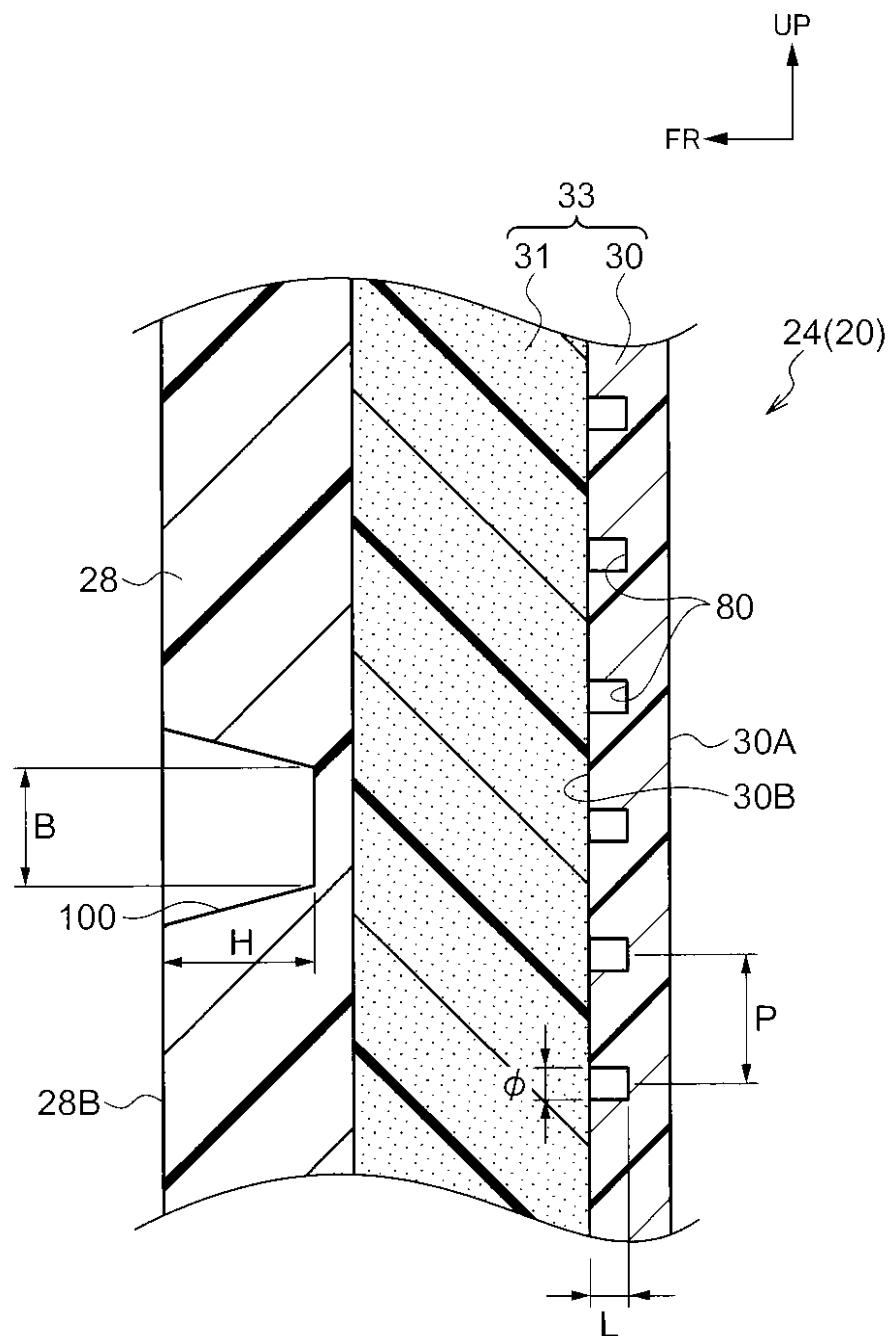
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】



24 グラブドアアウタ
(内装部材の一例)

28 基材

30 表皮

30B 裏面

31 発泡層

80 凹部

100 開裂溝